

各 位

上場会社名	イハラサイエンス株式会社
代表者	代表取締役社長 中野琢雄
(コード番号	5999)
問合せ先責任者	執行役員経営統轄室長 杉山勝美
(TEL	03-5742-2701)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,150	100	100	60	4.74
今回発表予想(B)	3,000	0	100	60	4.74
増減額(B-A)	△150	△100	0	0	
増減率(%)	△4.8	△100.0	0.0	0.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	6,609	1,072	1,060	619	47.13

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,000	700	700	410	32.39
今回発表予想(B)	7,000	600	700	410	32.39
増減額(B-A)	0	△100	0	0	
増減率(%)	0.0	△14.3	0.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	10,673	1,426	1,411	727	57.45

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,100	20	20	10	0.79
今回発表予想(B)	2,950	20	100	60	5.53
増減額(B-A)	△150	0	80	50	
増減率(%)	△4.8	0.0	400.0	500.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,850	650	650	380	30.02
今回発表予想(B)	6,850	580	650	380	32.39
増減額(B-A)	0	△70	0	0	
増減率(%)	0.0	△10.8	0.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	9,568	1,489	1,495	749	59.19

修正の理由

第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の急激な景気悪化の影響で、設備投資や個人消費の低迷が続き、一部には製造業の在庫調整の進展等により景気の底入れが見え始めましたが、先行きは以前として不透明な状況にあります。

当社グループの主要な市場におきましても、昨年秋以降から続いている受注激減は、今年3月には前年同月比70%減まで落ち込みましたが、その後多少持ち直し当第1四半期連結累計期間においては、63%減まで回復してきております。しかしながら、工作機械、建設機械等産業機械全般においては、依然として底這い状態がつついており、売上高において当初予想を下回っております。

損益面では、売上高が半分になっても損失を出さない、変化対応力の高い生産性体制と収益構造作りに挑戦してまいりましたが、売上高減少の影響により営業利益において当初の予想を下回りました。しかしながら、雇用調整の休業に伴う給

付金収入により、経常利益においては当初の予想通りとなりました。

その結果、第1四半期累計期間の業績は、売上高14億円(前年同四半期は33億21百万円)、営業損失48百万円(同6億37百万円の営業利益)、経常利益13百万円(同6億49百万円)、四半期純利益0百万円(同3億85百万円)となりました。

こうした状況を踏まえ、第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、上記の通り修正いたします。
(注)業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績が記載の予想と大幅に異なる結果となる可能性があります。

以上